

令和7年度

第2回 三朝町地域公共交通協議会

日 時：令和7年12月23日（火）13:30～

会 場：三朝町役場第4会議室

【日 程】

1. 開 会

2. 会 長 挨 拶

3. 辞 令 交 付

4. 協 議 事 項

(1) みささサンサンバスの利用状況について

・・・概要

資料1

・・・みささサンサンバス利用実績まとめ

資料2

・・・みささサンサンバスデマンド便バス停利用状況

資料3

(2) 生活交通確保維持改善計画の事業評価について

資料4

5. 次 期 開 催 日 令和8年6月予定

6. 閉 会

令和7年度 三朝町地域公共交通協議会委員名簿

三朝町地域公共交通協議会委員

区分	団体等	氏名	備考
学識経験者	広島経済大学	加藤 博和	オンライン
学識経験者	三朝町立三朝小学校	平井 尚	欠席
公共交通事業者	日ノ丸自動車株式会社倉吉営業所	徳丸 淳史	
公共交通事業者	日ノ丸ハイヤー株式会社倉吉営業所	難波 宏	
公共交通事業者	日本交通株式会社（日交タクシー）	佐々木 幹宗	
行政関係	中国運輸局鳥取運輸支局	福原 昇	オンライン
行政関係	鳥取県輝く鳥取創造本部中山間・地域振興局交通政策課	福井 恒	オンライン
行政関係	鳥取県倉吉警察署交通課	花房 慎介	
団体代表	三朝温泉観光協会	知久馬 宏平	
団体代表	三朝町老人クラブ連合会	田栗 幸人	欠席
団体代表	三朝小学校PTA	平尾 聡康	
地域代表	高勢地域協議会	徳田 修一郎	
地域代表	賀茂地域協議会	山崎 一彰	
地域代表	竹田地域協議会	高見 昌利	欠席
福祉関係	三朝町社会福祉協議会	岩本 美樹	欠席
副町長	三朝町	赤坂 英樹	会長

オブザーバー	日ノ丸自動車株式会社倉吉営業所	岡本 博文
オブザーバー	中国運輸局鳥取運輸支局	高橋 惇
オブザーバー	鳥取県輝く鳥取創造本部中山間・地域振興局交通政策課	川口 鎮彦

事務局

三朝町地域振興監 兼企画健康課課長	藤井 紀好
企画健康課主事	浦木 勇輔

1 みささサンサンバスの利用状況について

概 要

(1) 利用者数（令和6年10月～令和7年9月） ※詳細は資料2を参照

- ・全線あわせて年間3,435人、月平均286人の乗車。対前年増減率は△11.7%
- ・穴鴨線、徳本線で減少し、小河内線は微増の結果となった。
- ・穴鴨線、小河内線は通学利用が大半を占めるため、休み期間前後の月別変動が大きい。

【月別路線別利用者数】

(単位：人、円)

路線別	穴鴨線	小河内線	徳本線	全線計	運賃収入
R6年10月	152	147	34	333	14,900
11月	129	158	48	335	13,150
12月	112	175	44	331	14,600
R7年1月	102	131	18	251	7,400
2月	90	147	24	261	7,900
3月	90	131	25	246	11,500
4月	141	100	22	263	9,450
5月	161	151	21	333	10,800
6月	140	147	22	309	9,550
7月	142	118	18	278	7,300
8月	130	41	13	184	9,700
9月	155	133	23	311	11,550
年間合計	1,544	1,579	312	3,435	127,800
前年実績	1,995	1,567	329	3,891	129,800
対前年増減率	△22.6%	0.0%	△5.2%	△11.7%	△0.0%

(2) デマンド便バス停利用状況 ※詳細は、資料3を参照

- ・上りの最終下車地、下りの始発地は、ほぼ全て「三朝町役場」
(次点で、「三朝小学校前」「三朝中学校前」「本泉」など)
- ・昨年度から利用回数が大きく変動しているバス停があり、固定客の入れ替わり等と推測
- ・継続的に利用された町営バス停(年10回以上)は次のとおり
小河内線：上笏賀、森公民館前、なごみの館前、鎌田公民館前
穴鴨線：とんがりハウス前、助谷多目的研修会施設前
- ・町営バス停「赤松(村中)、恩地(村中)、大島」の利用はなし(運行日誌上)

みささサンサンバス利用実績まとめ

(令和 6 年 10 月～令和 7 年 9 月)

1. 小管内線

【運行の状況】

- ▶ 「実光 7:17 発（土日祝）」と「三朝町役場内 15:47 発（平日）」の2便が定時定路線運行
- ▶ 「三朝町役場内 10:25 発（毎日）、13:15 発（平日）、15:47 発（土日祝）、16:45 発（平日）、17:50 発（平日）」は、一部の区間が定時定路線でその先はデマンド運行
- ▶ 上りの便（実光⇒三朝町役場内）はすべてデマンド運行

1-1 利用者数

（1）便別券種別利用者数

- 上り（実光⇒三朝町役場内）を利用した人数は年合計 193 人、下り（三朝町役場内⇒実光）を利用した人数は 1,386 人で、下りの利用者が上りに比べて圧倒的に多い。これは、小学生の通学において登校時は日ノ丸バス（実光 7:17 発）を利用し、下校時にサンサンバスを利用するためであると推測される。
- 利用者数を券種でみると、小学生の通学が主体となることから「定期券」の数が多く、約 7 割を占める。次点の「現金」だが、前年から増加した 41 件となった。「架け橋」や「回数券」の利用はほぼない。
- 一般利用は、「実光 8:10 発、11:00 発」がお出かけ便として機能し、帰宅便は「三朝町役場内 10:25 発から 17:50 発まで」幅広く利用されていることがわかる。
- 上りの「実光 7:17 発（土日祝）、13:40 発、16:10 発」の利用が前年に続き低迷している。
- 前年に比べ、下りの「三朝町役場内 17:50 発」の利用者が大きく増加した。利用の多くが現金払いであることから帰宅便で利用されたと考えられる。

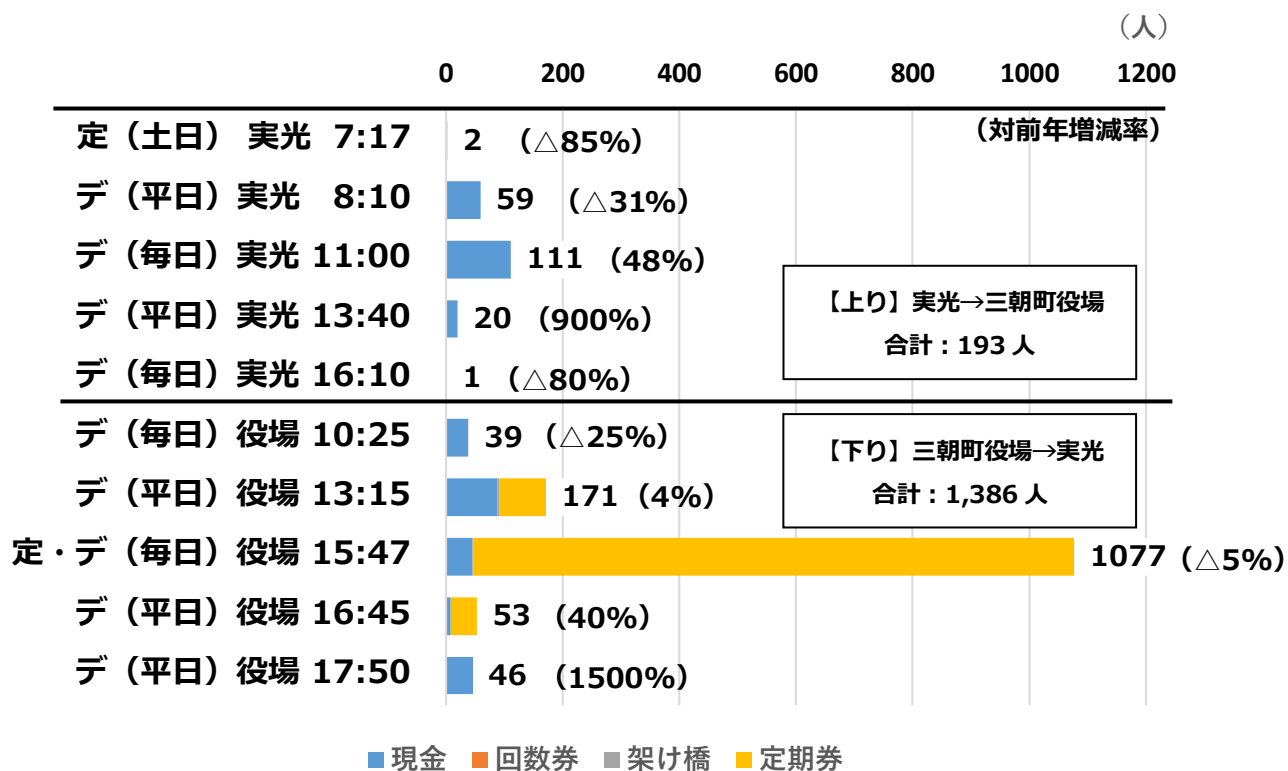


図1 便別券種別利用者数（R6年10月～R7年9月の合計値）

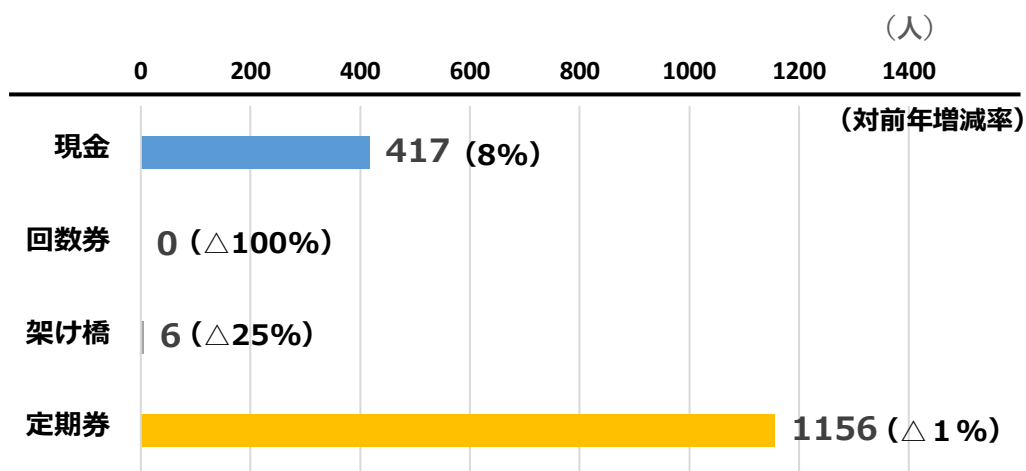


図2 券種別利用者数 (R6年10月～R7年9月の合計値)

(2) 月別利用者数の推移

- 10月～3月にかけては概ね前年の利用者数を上回っていたが、4月以降は8月を除いて利用者が下回った。4月～9月は定期券利用者が前年を下回っており (R6: 591人→R7: 509人)、年度替わりのタイミングで通学利用者が減少したものとみられる。
- 月別利用者数の増減は、前年と同様、通学に起因するところが大きく、夏休みにあたる8月に最も減少したほか、春休みの3月から4月にかけてもわずかに減少傾向がみられる。

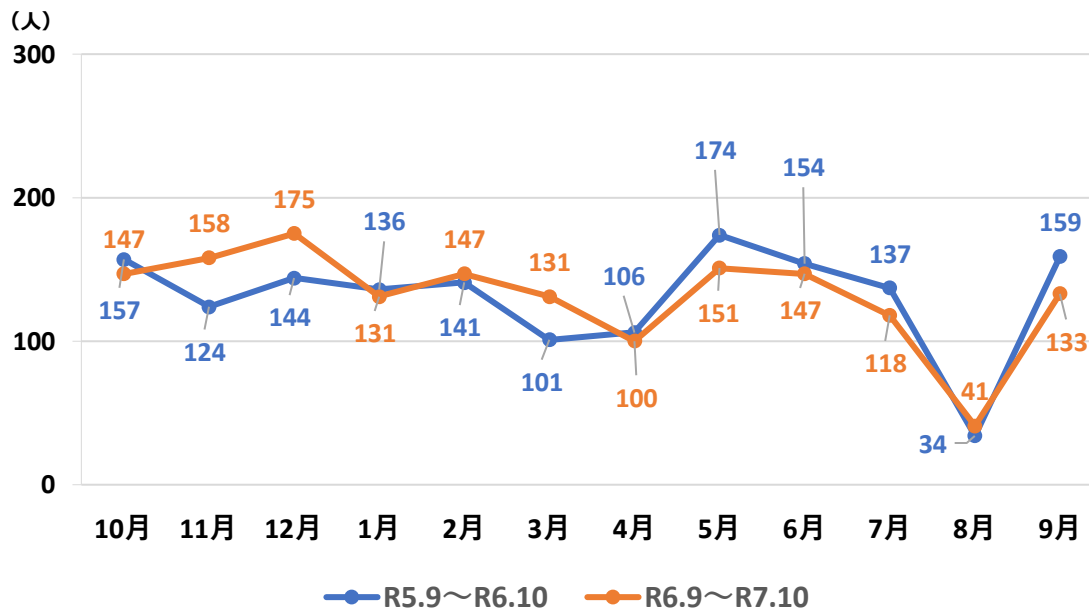


図3 月別利用者数の推移

(3) 便別日平均利用者数

- 定時便については「利用者数÷運行予定日数」、デマンド便については「利用者数÷稼働した日数」で、運行日1日平均の便別利用者数を算出した。
- 日平均利用者数としては、定時便「三朝町役場内 15:40 発」の値が1便平均3人以上で他に比べて高い。反対に、定時便「実光 7:17 発 (土日祝)」は利用人数が2人だったこともあり最も少ない結果となった。
- 上記以外の便は、デマンド便のため1を下回ることはない。

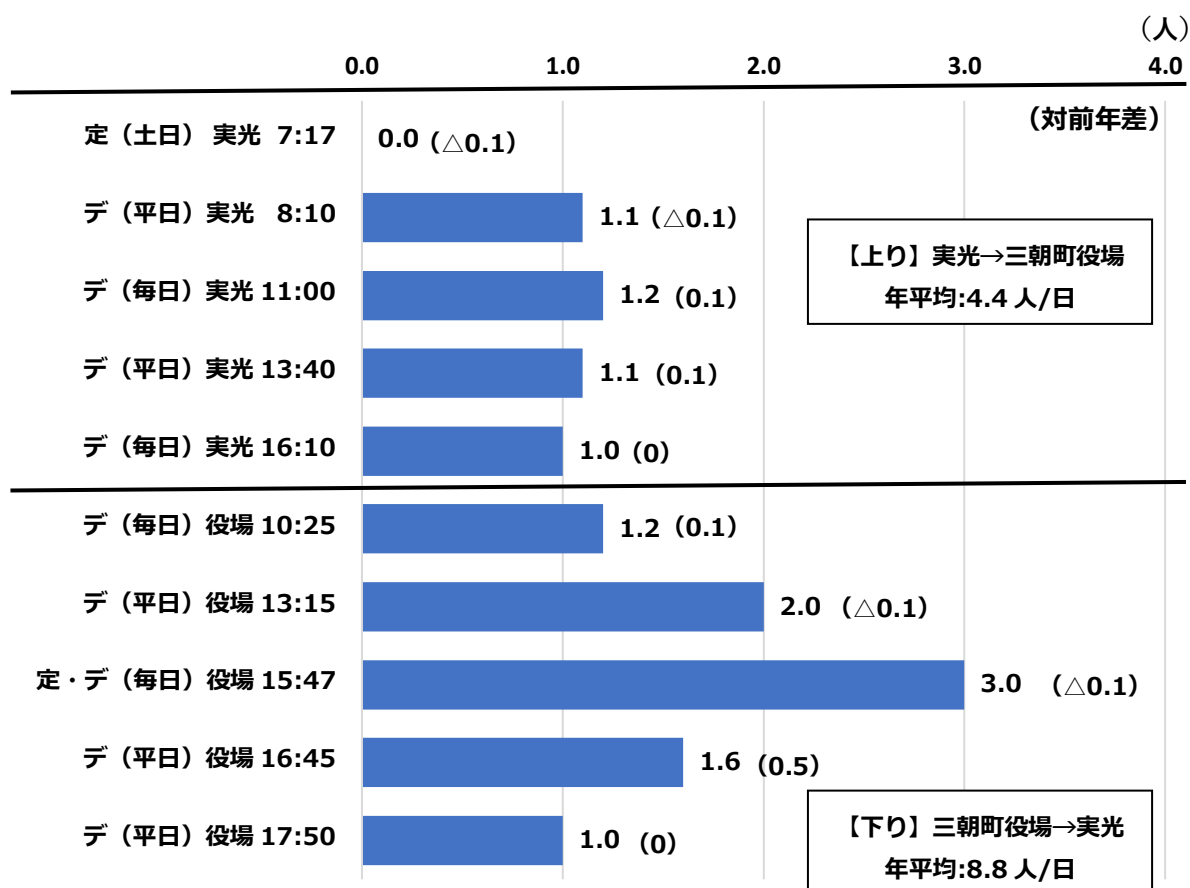


図4 便別日平均利用者数 (R6年10月~R7年9月の平均値)

(4) 曜日別利用者数

- 小河内線全体の利用者数を曜日別に振り分けてみると、火・金・日曜日で増加となった。
- 前年同様、運行する便数が平日の約半分とはいえ、土日の利用者が極端に少ない。

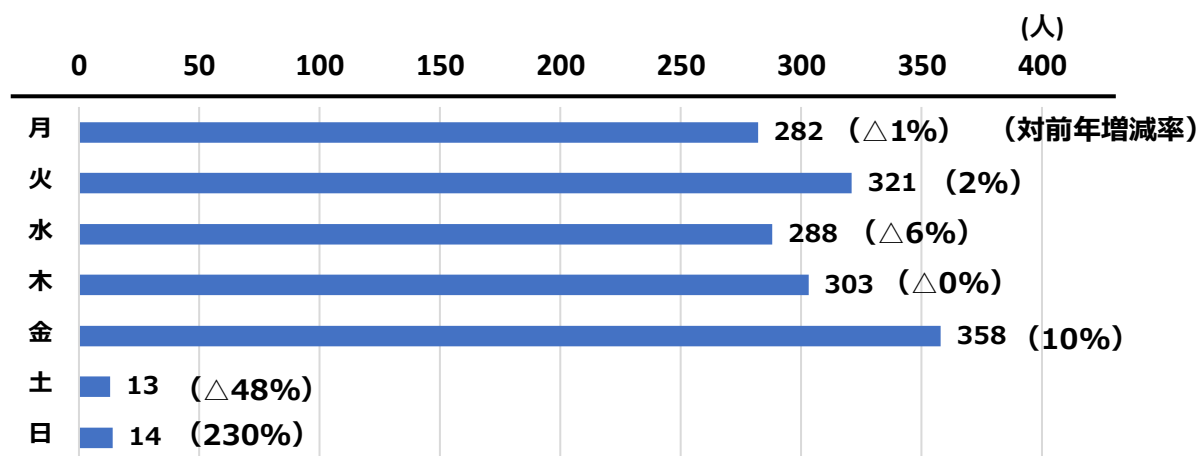


図5 曜日別利用者数 (R6年10月～R7年9月の合計値)

1-2 稼働率

- 定時便、デマンド便ともに、「利用のあった便÷運行予定日数」で稼働率を算出した。
- 稼働率が最も高いのは、下りの「三朝町役場内 15:47 発」で、平日は主に小学生の下校便として利用されている。
- 稼働率が最も低いのは、「実光 16:10 発」で、年間を通してデマンドの予約がほぼ入らない。

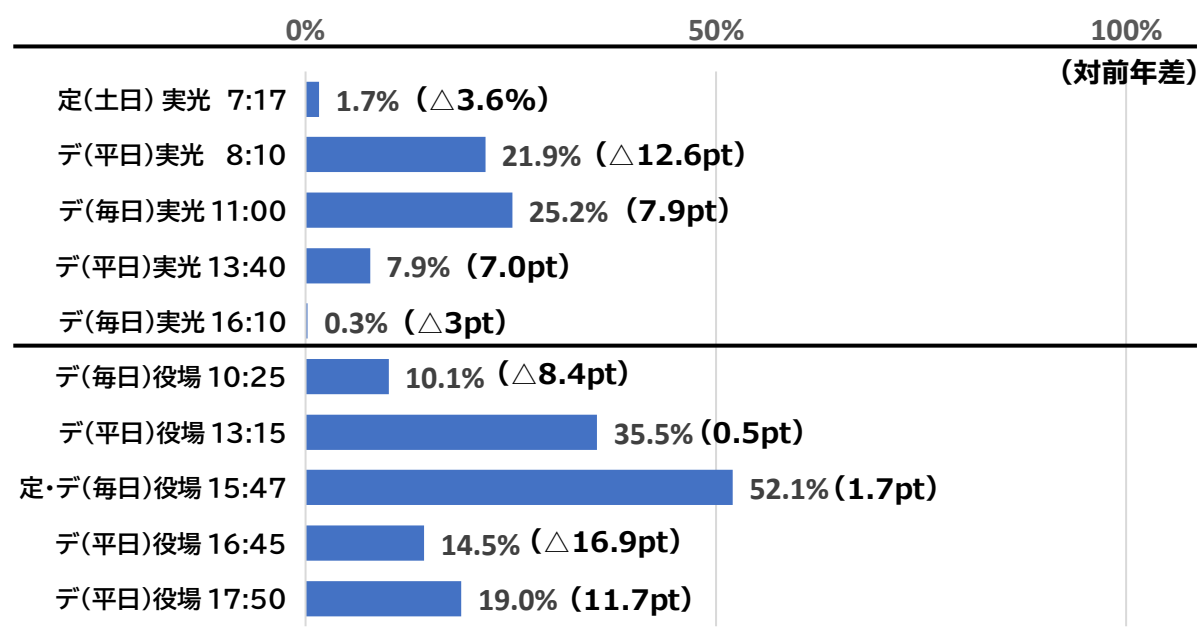


図6 便別稼働率 (R6年10月～R7年9月の平均値)

2. 穴鴨線

【運行の状況】

- ▶ 「穴鴨公会堂前 7:14 発（平日）」と「大谷入口 8:14 発（土日祝）」の2便が定時定路線運行
- ▶ 「大谷入口 12:20 発（毎日）」がデマンド運行
- ▶ 「三朝町役場内 11:35 発（毎日）、16:42 発（土日祝）」は、一部の区間が定時定路線でその先はデマンド運行

2-1 利用者数

（1）便別券種別利用者数

- 上り（穴鴨方面⇒三朝町役場内・前）を利用した人数は年合計 787 人、下り（三朝町役場内⇒穴鴨方面）を利用した人数は 757 人となっている。
- 「穴鴨公会堂前 7:14 発」は、倉吉市方面行きの日ノ丸バスとの接続を考慮して左回りとなっており、「定期券」の数が多いことから倉吉方面へ通う高校生などの通学に利用されていることがわかる。
- この他の便はいずれも「架け橋」の利用が最多で、高齢者の通院や買い物等の外出に利用されているとみられる。特に、「三朝町役場内 11:35 発」が多く、この便が帰宅便としてよく使われている。また、同便は前年と比較し利用者数に大きな変化が見受けられないものの、「架け橋」の利用が 349 人（前年 429 人）と減少し、現金での利用が 277 人（前年 226 人）と増加した。
- 全便を合わせた券種別利用者数は「架け橋」の数が多く、次いで「定期券」、「現金」と続く。

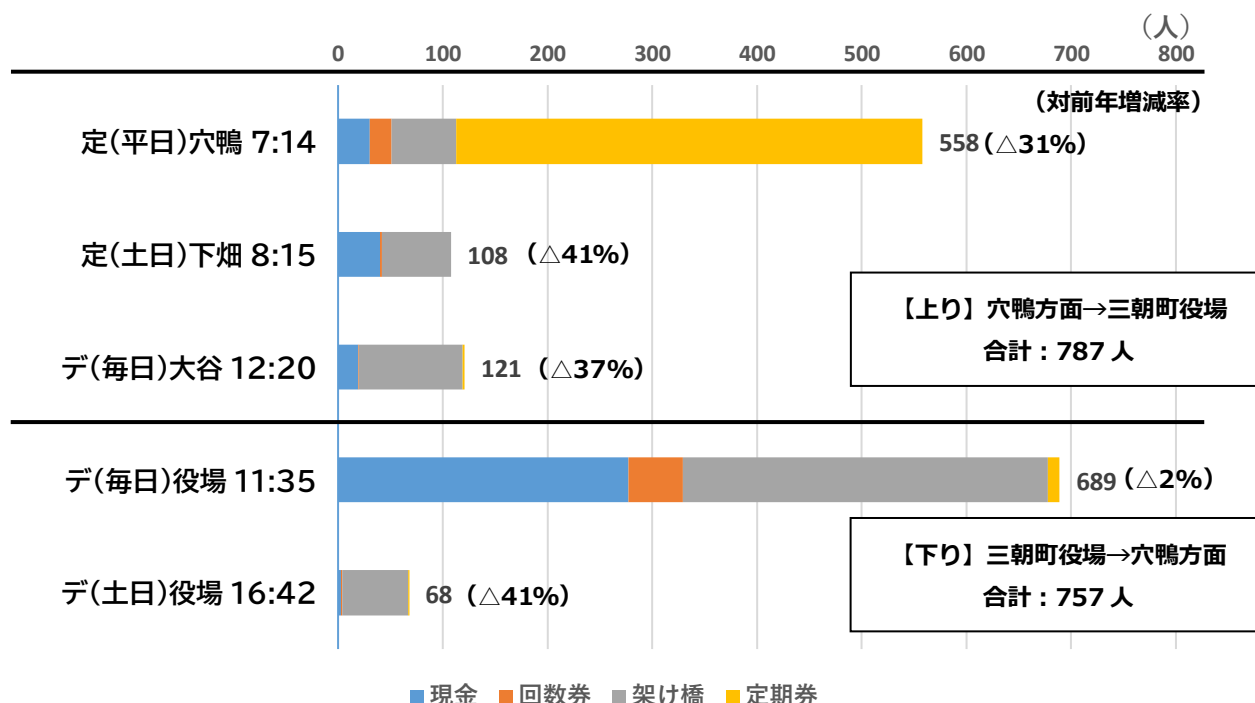


図7 便別券種別利用者数（R6年10月～R7年9月の合計値）

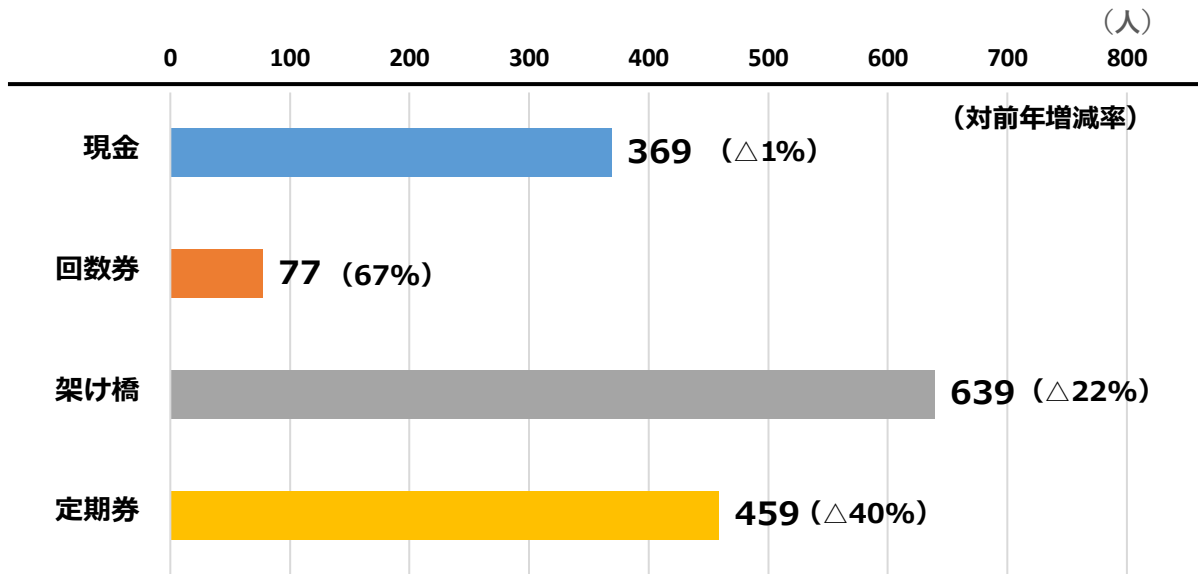


図8 券種別利用者数 (R6年10月～R7年9月の合計値)

(2) 月別利用者数の推移

- 1年間を通して前年より減少傾向が見受けられたが、令和7年8月からは前年と比較して増加傾向となった。
- 月別利用者数の増減は、高校生の通学に左右されており、夏休みにあたる8月、春休みにあたる3月に減少している。また、1,2月には定期券利用者が数を減らしている

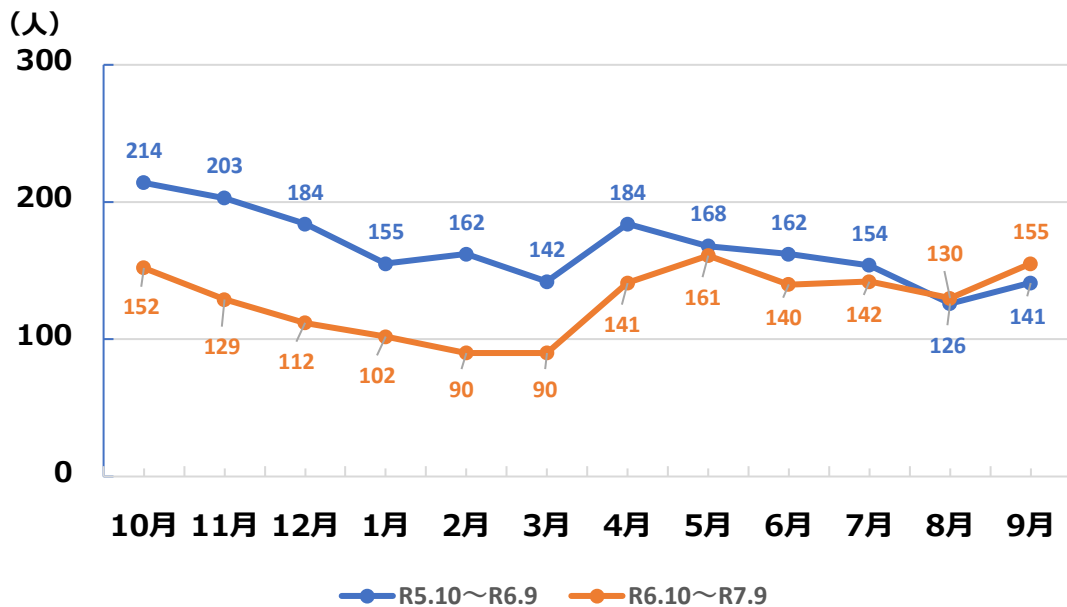


図9 月別利用者数の推移

(3) 便別日平均利用者数

- 日平均利用者数としては、デマンド及び提示便となる「三朝町役場内 11:35 発」となった。
同便はデマンド便にも関わらず、利用者が 2.54 人となり、前年度より増加した。
- その他の便は前年と比較して、どの便も減少となった。

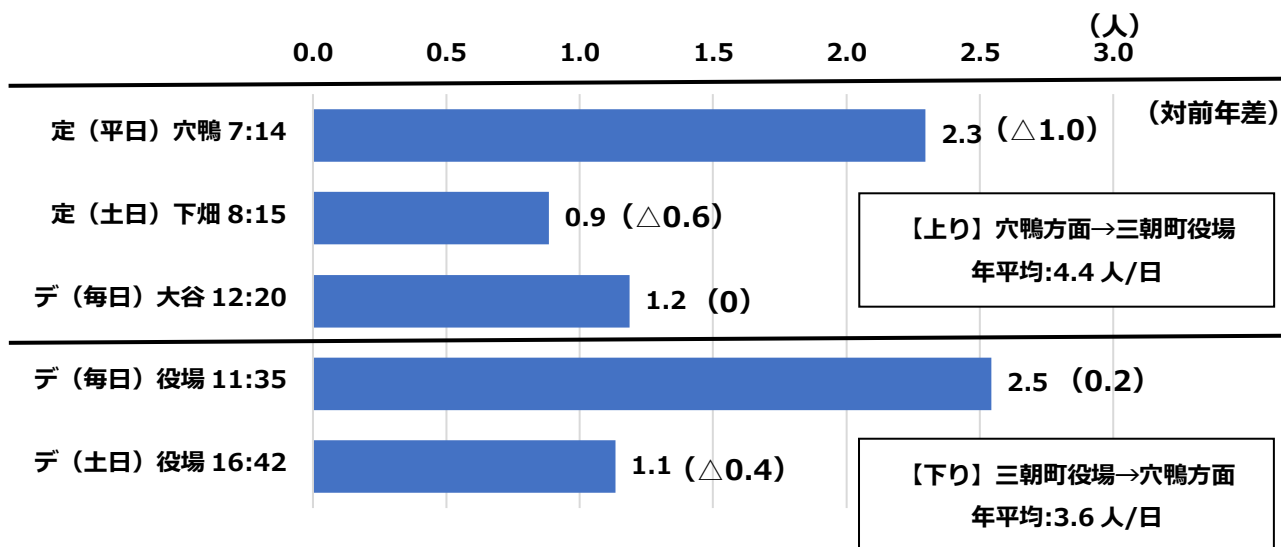
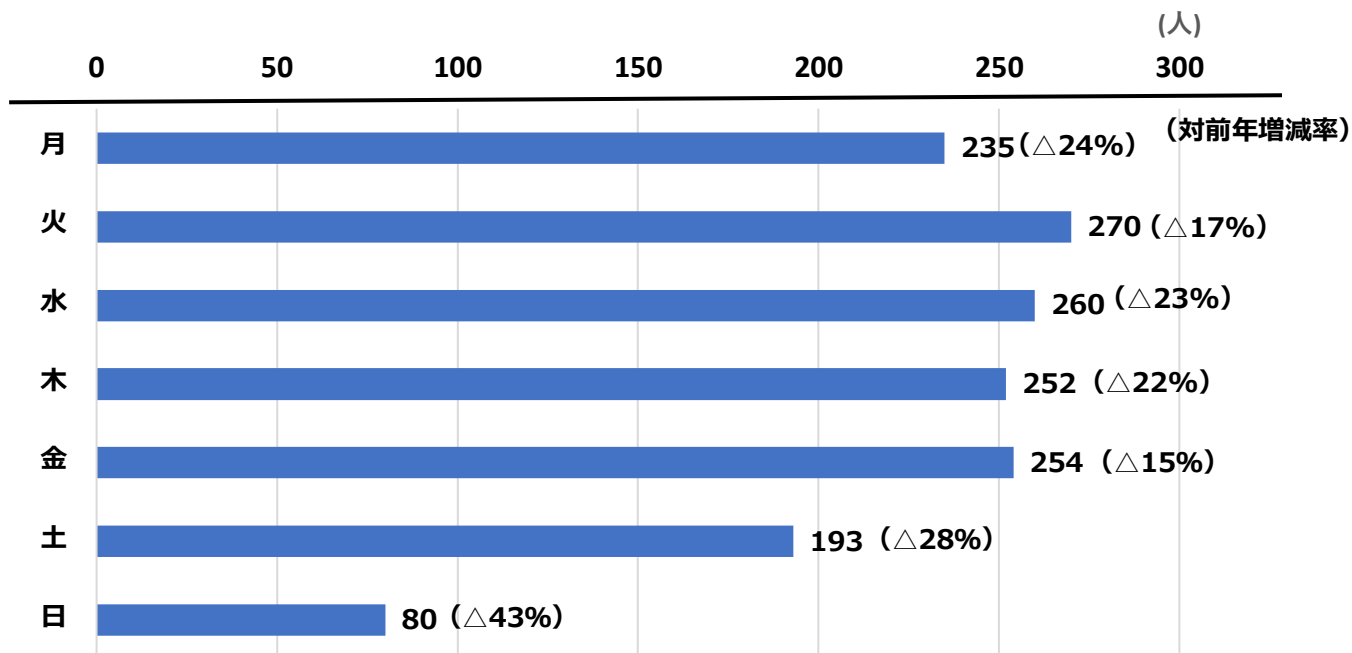


図 1 便別日平均利用者数 (R6年10月~R7年9月の平均値)

(4) 曜日別利用者数

- 前年と比較し、全曜日で利用が減少したにも関わらず、前年同様、小河内線と比べ土日の利用者が多い。



2-2 稼働率

- 稼働率が最も高いのは、定時便「穴鴨公会堂前 7:14 発（平日）」で、平日の通学便として機能しているため、稼働率は前年（98.8）より数値を落としたものの 90%に近い数値となった。
- 次いでデマンド便「三朝町役場内 11:35 発（毎日）」は前年（75.4）より数値が微増したが、定時便「大谷入口 8:15 発（土日祝）」については、前年（57.5）と比べ稼働率が下がっている。
- 小谷内線と比較して、穴鴨線は全体的に稼働率が高い。

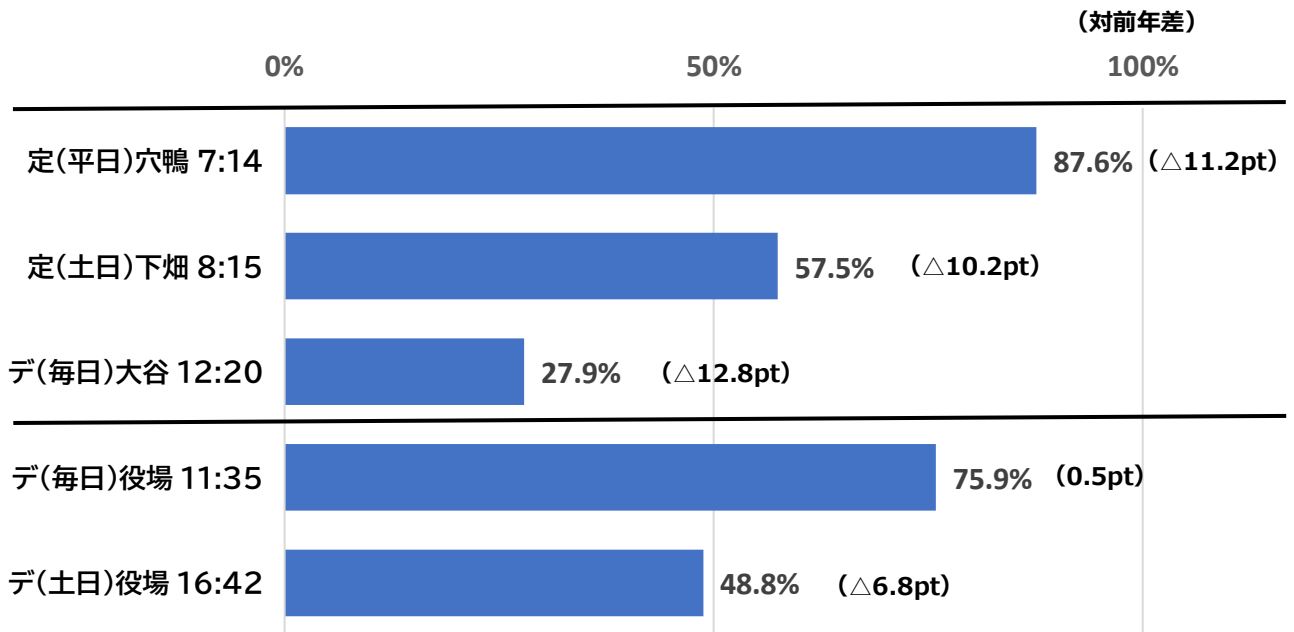


図 12 便別稼働率（R6年10月～R7年9月の平均値）

3. 徳本線

【運行の状況】

- ▶すべての便が定時定路線
- ▶平日のみの運行

3-1 利用者数

(1) 便別券種別利用者数

- 下り（三朝町役場内⇒三朝温泉病院）を利用した人数は年合計 187 人、上り（三朝温泉病院⇒三朝町役場内）を利用した人数は 125 人となっており、下りの利用が多い。
- 券種でみると、ほとんどが「現金」の利用で、「架け橋」の利用もある。
- 「三朝町役場内 9:00 発」の利用が前年から伸びたが、その他は減少。

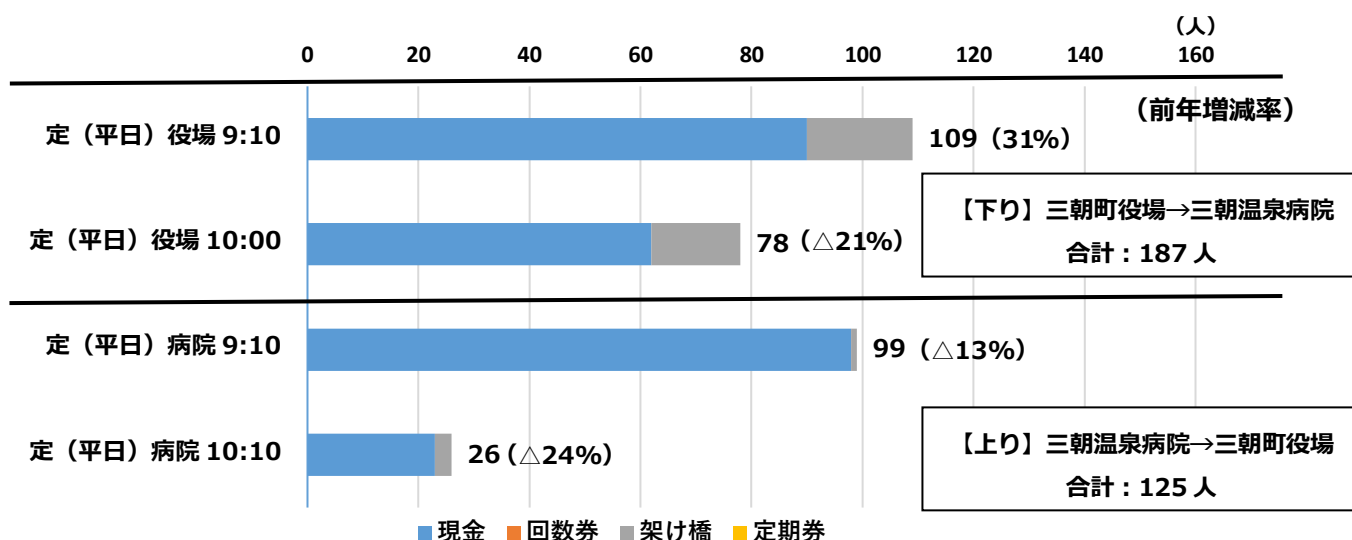


図 13 便別券種別利用者数 (R6 年 10 月～R7 年 9 月の合計値)

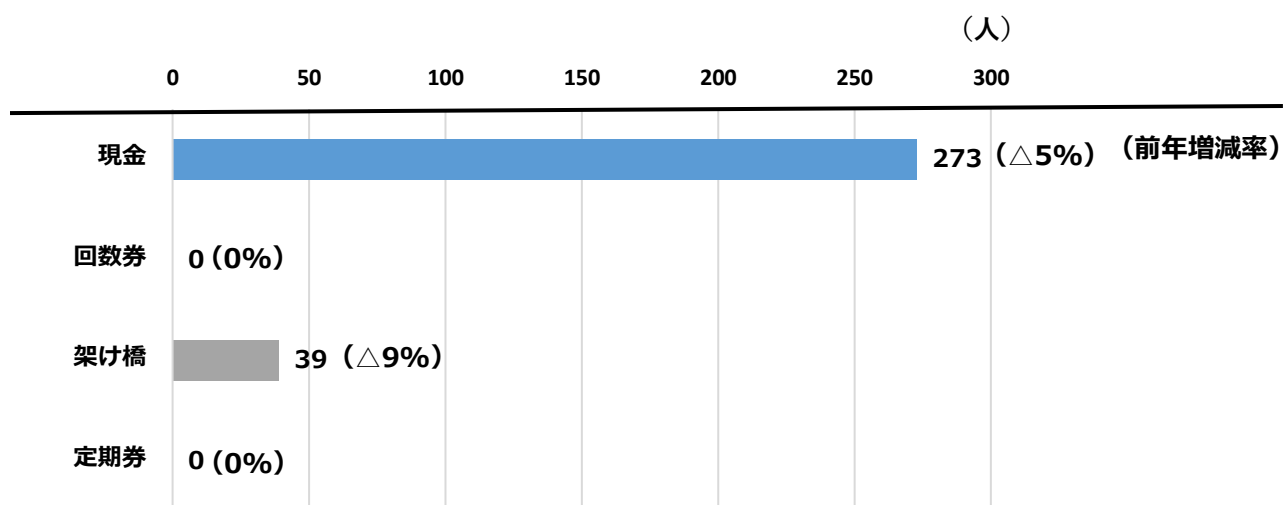


図 14 券種別利用者数 (R6 年 10 月～R7 年 9 月の合計値)

(2) 月別利用者数の推移

○月別利用者数をみると、前年と同様にほぼ横ばいで推移しており、特段傾向はみられない。

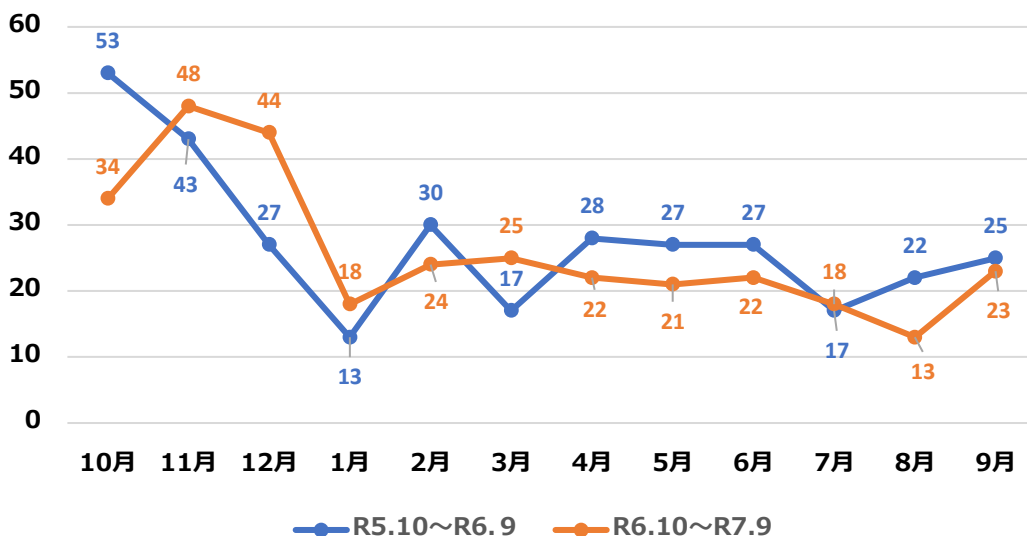


図 15 月別利用者数の推移

(3) 便別日平均利用者数

○運行予定日 1 日平均の利用者数は、下り（三朝町役場⇒三朝温泉病院）で 0.7 人、上り（三朝温泉病院⇒三朝町役場）で 0.5 人となっている。

○上下合わせて 4 便は、いずれも日平均 0.5 人/日以下となっている。

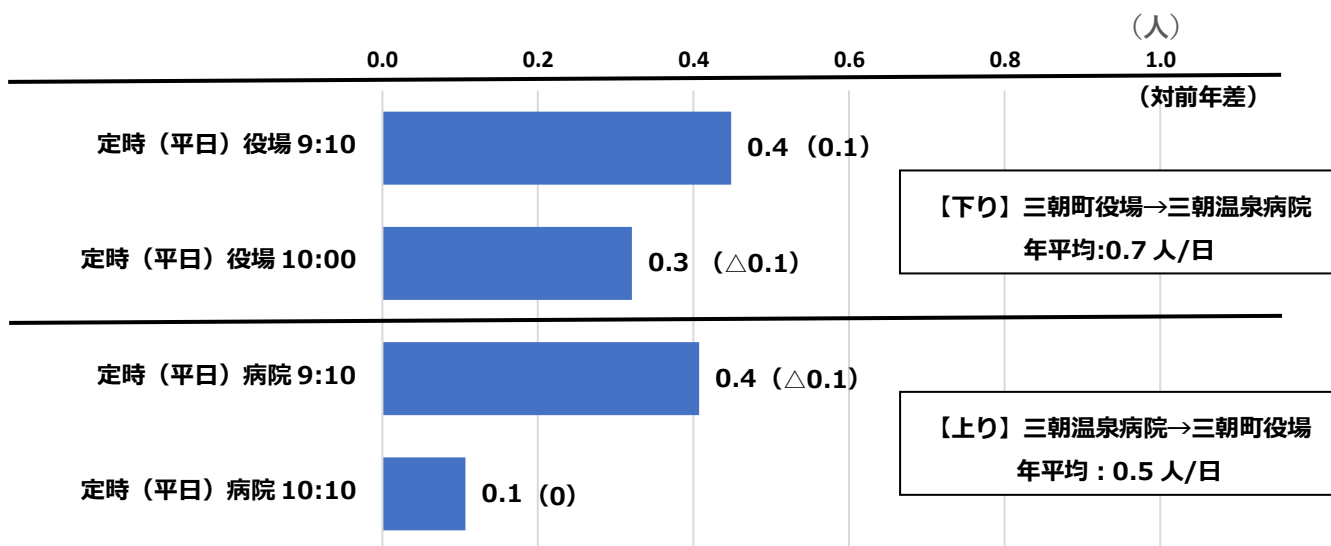


図 16 便別日平均利用者数 (R6 年 10 月~R7 年 9 月の平均値)

(4) 曜日別利用者数

- 運行日の月～金曜日の利用を比較すると、火・水曜日が74人と最大値である。
- 母数が少ないこともあり、固定客の入れ替わりで差異が出てくるものと考えられる。
- なお、火曜日は前年に比べ26人の増加で増減を併せてみても一番大きな変化となった。

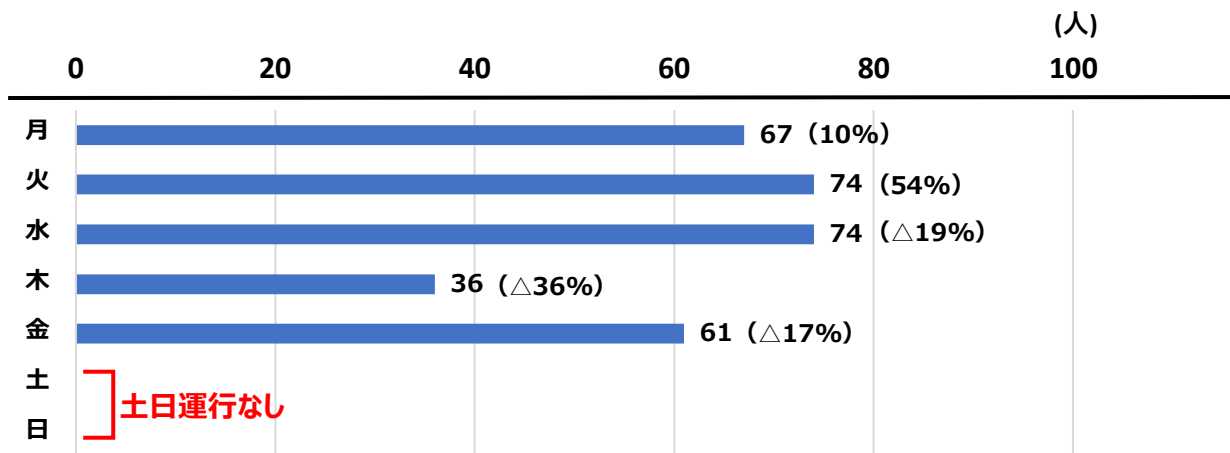


図 17 曜日別利用者数 (R6年10月～R7年9月の合計値)

3-2 稼働率

- 「三朝温泉病院 10:10 発」は、利用者数が前年に比べ減少していたものの、稼働率では数値が上がっている。

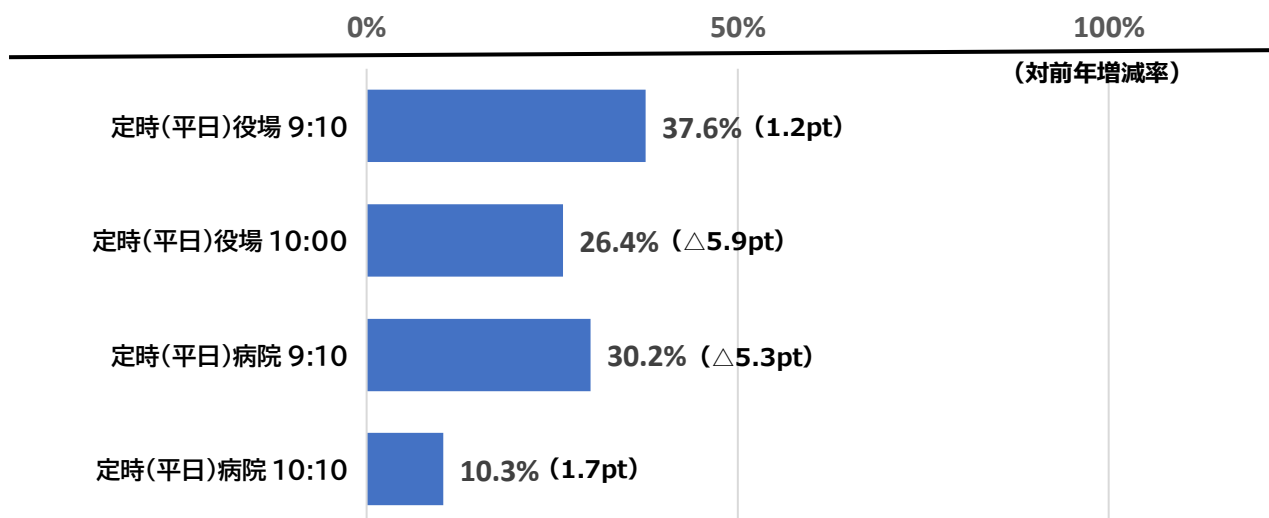


図 18 便別稼働率 (R6年10月～R7年9月の平均値)

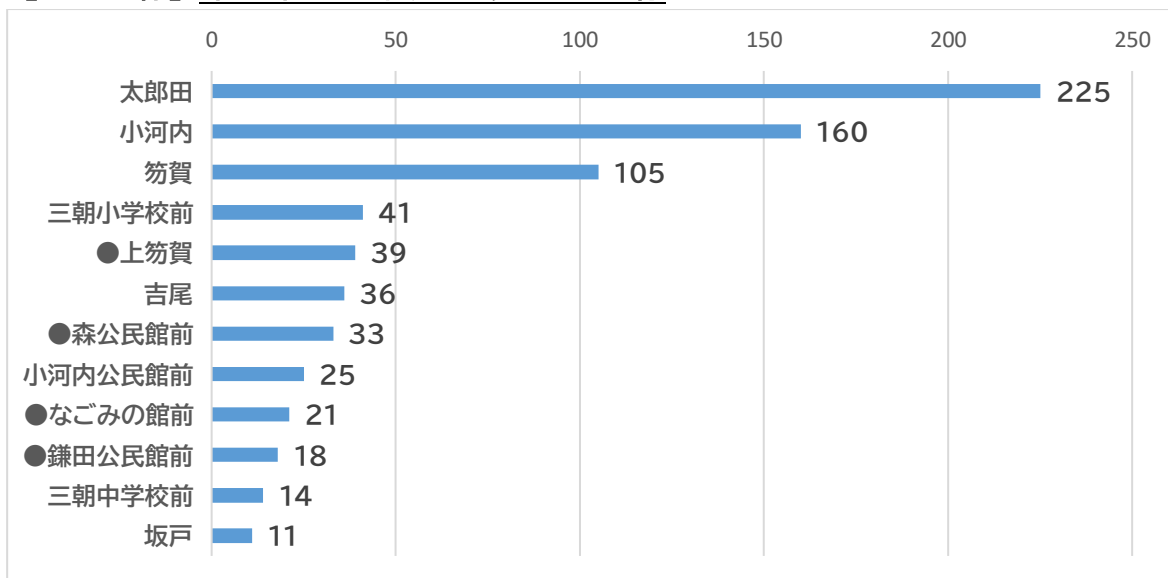
みさきサンサンバスデマンド便 バス停利用状況

■集計期間…R6.10.1～R7.9.30

■集計対象…全てのデマンド便

■集計方法…役場を除く全てのバス停について、運行日誌からピックアップし、停車（乗車又は降車）回数をカウントした。

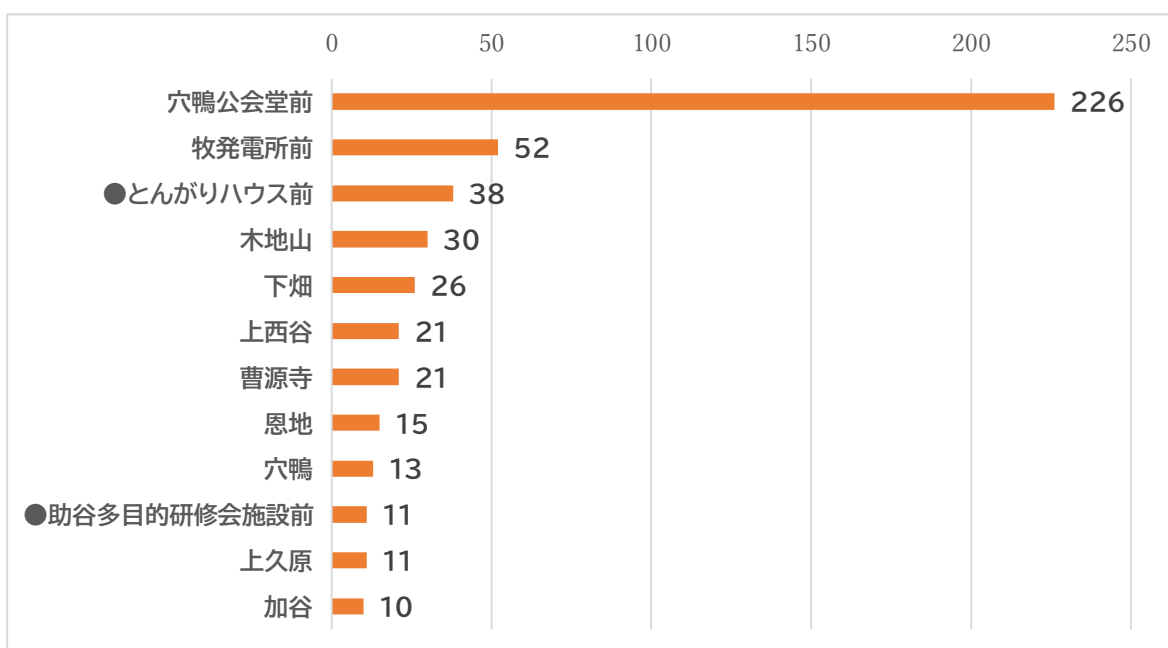
【小河内線】年10回以上利用のあったバス停



上記以外の町営バス停

●下谷交流センター前（7回） ●福吉（0回） ●天神公民館前（0回） ●笏賀公民館前（0回）

【穴鴨線】年10回以上利用のあったバス停



上記以外の町営バス停

●上久原（村中）（8回） ●曹源寺（村中）（4回） ●下久原（1回）
 ●若宮集会所前（1回） ●湯谷（村中）（1回） ●赤松（村中）（0回）
 ●恩地（村中）（0回） ●大島（0回）

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料4

令和7年 月 日

協議会名: 三朝町地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
三朝町	小河内線系統① 三朝町役場内～森公民館前・鎌田公民館前～実光 (路線不定期)	・地域公共交通について、取り組みや課題等を取り上げ、地域住民へ利用促進及び課題共有を図った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B (目標)600人/年 (実績)500人/年 目標は達成しなかったが、高齢者等の移動手段を確保維持することができた。	・利用者のニーズに合わせたダイヤ改正等の見直しを行い、利便性の向上に努めていく。 ・引き続き、町報やホームページ等を活用して周知を図るなど、利用促進につながる取り組みを継続して進めていく。また、新たな施策やシステムを導入する際には積極的に周知を行う。 ・さらに利便性を高めるための方策の検討を行い、持続可能な公共交通を目指していく。
	小河内線系統② 三朝町役場内～森・鎌田～実光 (路線不定期)		A	計画通り事業は適切に実施された。	B (目標)1,138人/年 (実績)1,077人/年 目標は達成しなかったが、下校する児童等の移動手段を確保維持することができた。	
	小河内線系統③ 三朝町役場内～森・鎌田～実光 (路線定期)		A	計画通り事業は適切に実施された。	B (目標)7人/年 (実績)2人/年 目標は達成しなかったが、高齢者等の移動手段を確保維持することができた。	
	穴鴨線系統① 三朝町役場内～三朝小学校前・若宮集会所前・各(村中)～大谷入口 (路線不定期)		A	計画通り事業は適切に実施された。	B (目標)1,030人/年 (実績)878人/年 目標は達成しなかったが、高齢者等の移動手段を確保維持することができた。	
	穴鴨線系統② 穴鴨公会堂前～運動場前～三朝町役場前 (路線定期)		A	計画通り事業は適切に実施された。	B (目標)962人/年 (実績)558人/年 目標は達成しなかったが、学生や高齢者等の移動手段を確保維持することができた。	
日ノ丸自動車	穴鴨線系統③ 大谷入口～穴鴨公会堂前・運動場前～三朝町役場前 (路線定期)		A	計画通り事業は適切に実施された。	B (目標)172人/年 (実績)108人/年 目標は達成できなかったが、高齢者等の移動手段を確保維持することができた。	
	穴鴨線系統④ 大谷入口～穴鴨公会堂前・運動場前～三朝町役場前 (路線定期)		A	計画通り事業は適切に実施された。	A (目標)1,149人/年 (実績)1,346人/年 目標を達成した。高齢者等の移動手段を確保維持することができた。	
三朝町	徳本線 三朝町役場内～徳本～三朝温泉病院 (路線定期)		A	計画通り事業は適切に実施された。	B (目標)361人/年 (実績)312人/年 目標は達成しなかったが、高齢者等の移動手段を確保維持することができた。	



令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 三朝町地域公共交通協議会 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要

三朝町の概要

- ・昭和28年11月に町制施行
- ・人口 6,060人(令和2年10月現在)
- ・面積 233.52km²

交通協議会の構成員

学識経験者 日ノ丸自動車(株) 日ノ丸ハイヤー(株) 日本交通(株) 鳥取運輸支局
鳥取県 倉吉警察署 三朝温泉観光協会 三朝町老人クラブ連合会 三朝小学校PTA 三朝町社会福祉協議会 各地域協議会 三朝町

概要

三朝町は、4つの谷沿いに日ノ丸バス(4条路線バス)が走り、本町民の生活圏域でもある倉吉市に繋がるよう公共交通網が広がっており、車を運転できない高齢者や学生を中心に、生活に必要不可欠な公共交通として機能している。

三朝町の公共交通は、少子高齢化や自家用車の普及等に伴い公共交通の利用者の減少が続いており、収支悪化による行政負担の増加から、路線バスを存続維持していくのが年々厳しい状況となっている。

これに対応すべく策定された「鳥取県中部地域公共交通利便増進実施計画」では、本町の地形上、無駄の多い路線バスの系統を見直し、より効率的な公共交通の確保を目指すもので、生活圏域である倉吉市と本町をつなぐ幹線を三朝線と上井・三朝線に絞り込み、その幹線につながる小河内線及び穴鴨線については、町運営有償運送を運行することによりフィーダー化を実現するものである。

今後は、小河内線及び穴鴨線沿線住民の通院・買い物・通学を確保・維持していくため、地域公共交通確保維持改善事業により、町運営有償運送の安定的な運営が必要となっている。

協議会の主な取り組み

- ・公共交通のあり方に関する検討
- ・町運営有償運送の運行
- ・路線バスのダイヤ等改善
- ・地域公共交通利便増進実施計画の策定 など

協議会における検討

協議会の開催状況

- ・令和5年6月5日開催 R6確保維持改善計画の承認
自家用有償旅客運送の更新
- ・令和5年8月31日開催(書面) バス停共用に関する合意
- ・令和6年1月11日開催 R5確保維持改善計画の事業評価
町営バスの利用状況について協議
- ・令和6年5月30日開催 R7確保維持改善計画の承認
地域公共交通計画の承認
- ・令和7年1月10日開催 R6確保維持改善計画の事業評価
町営バスの利用状況について協議
- ・令和7年12月23日開催 R7確保維持改善計画の事業評価
町営バスの利用状況について協議

定量的な目標・効果

4条路線 運行系統名	令和7年度目標 人/年間
穴鴨線系統④	1,149
穴鴨線系統⑤	6,856
計	8,005

79条路線 運行系統名	令和7年度目標 人/年間
小河内線系統①	600
小河内線系統②	1,138
小河内線系統③	7
穴鴨線系統①	1,030
穴鴨線系統②	962
穴鴨線系統③	172
徳本線	361
計	4,270

【目標】

79条路線は、7系統あわせて年間4,270人の利用を目標とする。
4条路線は、2系統あわせて年間8,005人の利用を目標とする。

【目標値の設定】

可能な限り利用者の減少を抑制することを目標に、令和5年度実績をもとに算出したものを目標値に設定した。

【効果】

高齢者や児童の日常生活に不可欠な移動手段が確保されるほか、効率的な運行体系が実現でき、外出促進・地域活性化につながる。

昨年度の自己評価に 対するフォローアップ

- ・利用者からの要望を基に、利用しやすい移動手段となるよう模索し、誰もが利用しやすい公共交通となるよう見直しに努めた。
- ・町報やホームページ等の継続的な発信を通じて利用促進につなげた。

実施した利用促進策

- ・町報、ホームページ、防災無線で継続的な情報発信
- ・県中部のノーマイカー運動「100金バス」への参画
- ・高齢者向け定期券、小中高生の通学費への補助 など

昨年度の運輸局二次評価に 対するフォローアップ

- ・地域公共交通について、取り組みや課題等を取り上げ、地域住民へ利用促進及び課題共有を図った。
- ・前年から引き続き、県中部のノーマイカー運動「100金バス」への参画、防災無線やホームページ等で継続的に発信を行った。

地域住民の意見の反映

- ・窓口等で受け付けた利用者からの意見は、適宜データベースで管理するなど、ダイヤ改正等の検討材料としている。
- ・町民から好評となっている100金バスへの参画継続

事業実施の適切性

いずれの系統においても、計画通り適切に実施されている。

目標・効果達成状況

4条路線 運行系統名	令和7年度目標 人/年間	令和7年度実績 人/年間
穴鴨線系統④	1,149	1,346
穴鴨線系統⑤	6,856	7,498
計	8,005	8,844

79条路線 運行系統名	令和7年度目標 人/年間	令和7年度実績 人/年間
小河内線系統①	600	500
小河内線系統②	1,138	1,077
小河内線系統③	7	2
穴鴨線系統①	1,030	878
穴鴨線系統②	962	558
穴鴨線系統③	172	108
徳本線	361	312
計	4,270	3,435

【目標】

79条路線は、7系統あわせて年間3,435人の利用で、目標の4,270人以上を達成できなかった。

4条路線は、2系統あわせて年間8,844人の利用で、目標の8,005人を達成した。

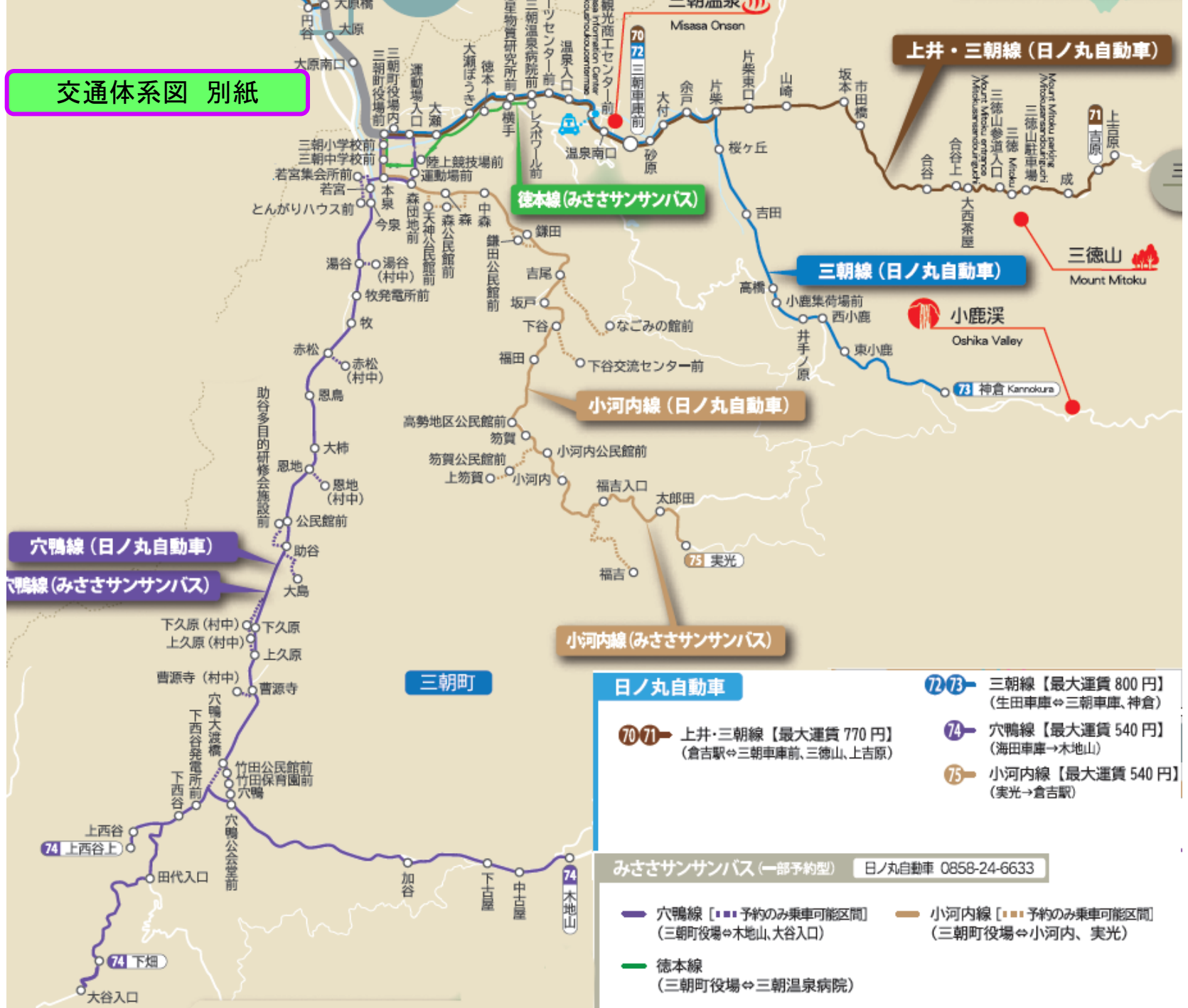
【効果】

高齢者や児童の日常生活に不可欠な移動手段を確保維持することができた。効率的な運行体系が実現できた。

事業の今後の改善点

- ・利用者のニーズに合わせたダイヤ改正等の見直しを行い、利便性の向上に努めていく。
- ・引き続き、町報やホームページ等を活用して周知を図るなど、利用促進につながる取組を継続して進めていく。
- ・さらに利便性を高めるための方策の検討を行い、持続可能な公共交通を目指していく。

交通体系図 別紙



上井・三朝線 (日ノ丸自動車)

徳本線 (みささサンサンバス)

三朝線 (日ノ丸自動車)

小河内線 (日ノ丸自動車)

穴鴨線 (日ノ丸自動車)

穴鴨線 (みささサンサンバス)

小河内線 (みささサンサンバス)

三朝町

日ノ丸自動車

- 72 73 三朝線【最大運賃 800 円】
(生田車庫⇄三朝車庫、神倉)
- 74 穴鴨線【最大運賃 540 円】
(海田車庫→木地山)
- 75 小河内線【最大運賃 540 円】
(実光→倉吉駅)

70 71 上井・三朝線【最大運賃 770 円】
(倉吉駅⇄三朝車庫前、三徳山、上吉原)

みささサンサンバス (一部予約型) 日ノ丸自動車 0858-24-6633

- 穴鴨線 [■■■ 予約のみ乗車可能区間]
(三朝町役場⇄木地山、大谷入口)
- 徳本線
(三朝町役場⇄三朝温泉病院)
- 小河内線 [■■■ 予約のみ乗車可能区間]
(三朝町役場⇄小河内、実光)

運行系統図 別紙

系統名:小河内線系統①

運行形態:交通空白地有償運送(不定期)

運行日・便数:平日・8便(休日・4便)

運賃:100円、200円

系統名:小河内線系統②

運行形態:交通空白地有償運送(不定期)

運行日・便数:平日・1便

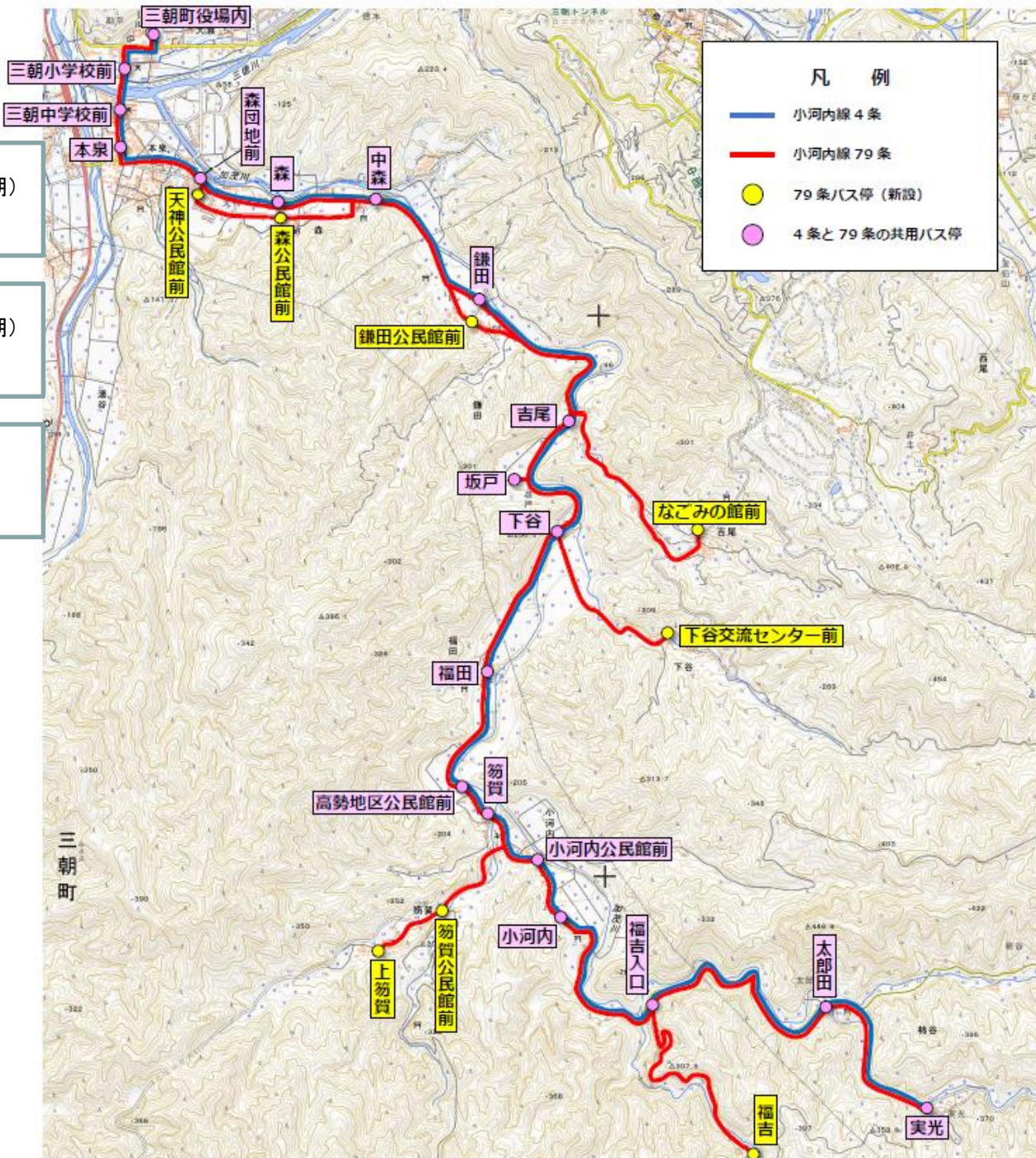
運賃:100円、200円

系統名:小河内線系統③

運行形態:交通空白地有償運送(定期)

運行日・便数:休日・1便

運賃:100円、200円



運行系統図 別紙

系統名: 穴鴨線系統①

運行形態: 交通空白地有償運送(不定期)

運行日・便数: 平日・2便(休日・3便)

運賃: 100円、200円

系統名: 穴鴨線系統②

運行形態: 交通空白地有償運送(定期)

運行日・便数: 平日・1便

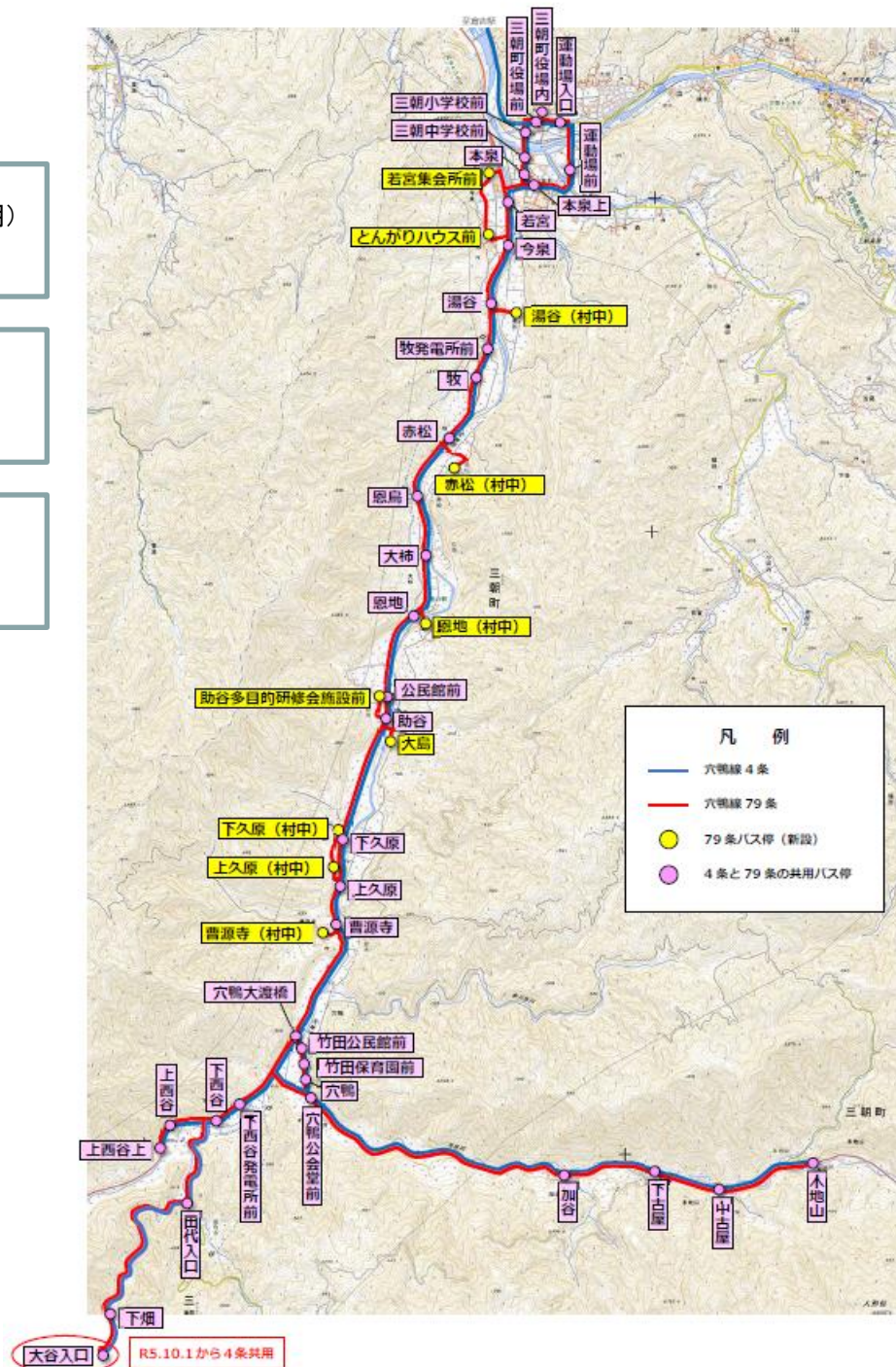
運賃: 100円、200円

系統名: 穴鴨線系統③

運行形態: 交通空白地有償運送(定期)

運行日・便数: 休日・1便

運賃: 100円、200円



運行系統図 別紙

系統名: 徳本線
運行形態: 交通空白地有償運送(定期)
運行日・便数: 平日・4便
運賃: 100円

